

2023年4月30日(日)

(あて先) 仙台市長

主たる事務所の所在地 仙台市泉区北中山3丁目17番12号
その他の事務所の所在地 なし
法人の名称 特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所
代表者氏名 水戸部 秀利
電話番号 070-2010-3777

事業報告等提出書

前事業年度(2022年4月1日から2023年3月31日)の事業報告等について、特定非営利活動促進法第29条の規定により、別紙のとおり提出します。

提出書類一覧

- (1) 前事業年度の事業報告書
- (2) 前事業年度の活動計算書・活動計算書注記
- (3) 前事業年度の貸借対照表
- (4) 前事業年度の財産目録
- (5) 前事業年度の年間役員名簿
- (6) 前事業年度の末日における社員のうち10人以上の者の氏名
各1部

2022年度事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

1、事業の成果

この法人は、自然エネルギー発電事業を市民共同出資で展開し、地球温暖化を防止し原発再稼働を阻止して、持続可能な社会の実現に資することを目的に活動しています。事業の柱は自然エネルギー発電事業で、2015年太陽光発電所を2か所(若林区井土浜・太白区柳生)開設し、2016年10月には塩釜市内保育所に太陽光発電所3号機を設置。2018年8月には亙理4号機、2019年3月には多賀城5号機、2020年11月には宮城野区蒲生に6号機を建設、2022年3月には若林区なないろの里の民家の屋根に7号機を建設、**2022年10月には若林区荒井の民家の屋根に8号機を建設**しました。なお2020年7月、太白区柳生のもりの子発電所(30kw)をもりの子保育園の運営法人宮城厚生福祉会に無償譲渡し、福祉事業に役立ててもらうことにしました。

太陽光発電所の建設基金は152名より7,172万円預かりました。寄付金は今年度泉病院屋上太陽光発電設置募金を実施したことから、新たに**延166名415万円**集まり、開設以来の合計が延414個人・団体より1,364万円となりました。このように、多くの市民の協力を得ながら、きらきら発電は着実に自然エネルギーを増やし続けています。

建設基金の返済は2018年より開始し、2018年424万円、2019年559万円、2020年542万円、2021年322万円、**2022年781万円**で、合計**2,628万円**返済しました。三分の一を返済したことになります。来年度以降は毎年600万円返済し、**2030年度の完済**をめざします。

みやぎ地域市民電力連絡会と共同で、(株)エコスタイルが実施する自家消費太陽光無償設置プログラムに社会福祉法人宮城厚生福祉会を応募・採択され、福祉会が経営する古川くりの木保育園屋上に、8月7.7kWの自家消費太陽光設備を設置することができました。同社は「子供たちの未来にエコ電力」を社是としています。太陽光の運転開始(東北電力との連携)は9月13日。きらきら発電はくりの木保育園にモニター設置費用として20万円寄付しました。

(1) 発電量、年間298,928kwhで、前年比13千kwhの減少

昨年1年間の発電量は8か所合計で298,928kwhで、前年度の311,333kwhより13千kwhの減少となりました。そのうちの**4000kwh**は天候不良による減少ですが、**1600kwh**は発電制御による減少で、残りの**7400kwh**は井土浜1号機の発電中止事故が原因です。井土浜発電所が1か月近くにわたって、発電が止まってしまいました。パソコンには「手動停止」の記録があり、何者かが停止したと考えざるを得ません。パソコンの異常を自動で伝えるアラーム機能が作動していなかったことも、発見が遅れた原因です。

このような事故が再び起こらないよう、パソコンのカギを二重にするとともに、アラーム機能の作動をプロジェクトウサミに依頼し、作動させました。また50kw発電所3か所の発電定期チェックを理事3人で行うことにしました。

なおこれまでの年間発電量は、2020年315,499kwh、2019年323,838kwh、2018年175,013kwh、2017年146,536kwh、2016年135,545kwh、2015年58,717kwhです。

(2) 学習講演会をコロナ禍の中オンライン併用で実施、オンライン上映会も実現

自然エネルギーや気候危機に関する学習会・講演会を、繰り返されるコロナ感染のなかでも中止せず、オンライン併用で続けてきました。4月29日の総会記念講演はノンフィクションライターの高橋真樹(たかはしまさき)さん。テーマは「みんなで取り組もう気候危機」。「今地球温

暖化と気候変動が進み、気候危機と言われるまでになっている。トレードオフ(小さな変化)を拒否しトランスフォーメーション(大転換)を実現しよう。」と訴えました。参加者は会場 22 名、オンライン 15 名でした。

5 月 25 日には岐阜県郡上市石徹白(いとしろ)の平野彰秀様のオンライン講演会を実施。テーマは「小水力発電に始まった岐阜県石徹白地区の持続可能性への挑戦」。参加者は 27 名。話は分かりやすく具体的で、楽しい講演会となりました。「学生時代から地域づくりを学び、かつ故郷岐阜に通って地域づくりを進め、その中で長良川河口堰反対運動を経験された人々とつながり、長良川上流にある石徹白集落に導かれる。その集落で手作りの水車発電に手掛け、小水力発電へとつながり、若い移住者が増え、今や子供たちが 8 倍にも増えた。地域のじいじ・ばあばが孫子のように子供たちを見つめてくれて、子供たちにはじいじ・ばあばの死も近くに感じられるようになった。またいつも自然と触れ合えることが、子供たちにとってすばらしい環境となっている。」このような講演内容でした。参加者から、一度石徹白(いとしろ)を訪問したいとの感想が出されました。

きらきら発電から企画提案し、みやぎ地域市民電力連絡会の主催で、10 月 15 日～16 日京都映画センターが製作したドキュメンタリー映画「WENDE—光と水のエネルギー」のオンライン上映会を実施しました。自然エネルギーに取り組まれている関西の方々を紹介するドキュメンタリー映画で、視聴は無料。61 名が参加し、きらきら発電からは 30 名が参加。自然エネルギーを市民の手で広めようと全国に訴えた環境学会元会長の和田氏も映像に映り、きらきら発電発足に援助してくれた人物を初めて目で見ることができました。自然エネルギーに携わる人々の熱気が伝わりましたが、映像は人の話(中心人物だけ)が中心で、発電現場の映像がすくなく、わいわいがやがやの集団のシーンがないのが残念でした。

1 月 22 日にはみやぎ地域市民電力連絡会年次総会で「どうすればエネルギー転換はうまくゆくのか」をテーマとする西城戸誠さんの基調講演がありました。会場・サテライト会場、オンラインなどで 6 7 名が参加。「今、自然エネルギーによる乱開発が全国各地で大変問題になっている。地球温暖化対策の切り札である自然エネルギーが、環境問題、自然災害問題、景観問題等々では住民の多くの反対を呼び起こしている。『厄介な問題』である再生可能エネルギー開発で『地域』という場の固有の社会文脈を尊重しないまま『大義』だけを振り回すべきでない。多くの利害関係者を接合し、二項対立に追い込まないでよりましな選択をすること、利益を地元還元することが大切」と強調されました。

これら 4 回の講演・上映会は内容の濃い学ぶことの多い企画となりました。

(3) 固定価格買取制度改悪で市民が取り組める太陽光発電は家庭用・自家消費型に絞られる

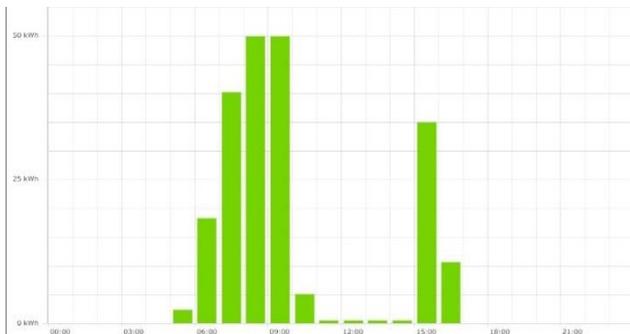
政府は自然エネルギーの固定価格買取制度を改悪し、わたしたち市民が取り組める太陽光発電は家庭用か自家消費型でしか取り組めない制度にしてしまいました。この制度改悪にあわせ、長野県上田市の「相乗りくん」の取り組みに学び、民家の屋根を借りて太陽光発電を設置することを 2021 年より実施してきました。21 年は若林区なないろの里の会員の協力が得られ、3 月に設備工事。2022 年度は同じく若林区荒井の会員宅に 10 月設置。2023 年も実施の予定です。きらきら発電の家庭用太陽光発電設置は、2023 年度で終了する予定です。

東北電力は 2022 年度大幅な電力料金の値上げを実施しました。おかげで電気代はあっという間に倍化しました。しかも 2023 年 4 月にはさらに 3 割の値上げを実施します。この電気代沸騰の時代、太陽光発電の単価は電気代の半分以下になり、自家消費型の太陽光発電設置がブームとなりそうです。そんな時代を先取りして、きらきら発電は 2024 年公益財団法人宮城厚生協会が運営する泉病院に「自家消費型の太陽光発電」を設置します。そのための 500 万円募金活動を

11月に始めましたが、4か月で191名の方から370万円の協力をいただいています。

(4) 2024年原発再稼働めざす東北電力は自然エネを出力制御

東北電力は2022年に初めて、太陽光発電が1年の中で最大稼働する4月—5月の2か月間に、12回を超す出力制御を実施。NPO きらきら発電の井土浜1号機や亘理4号機が対象となり、亘理4号機は4月30日午前10時から午後3時までの5時間(下グラフ)、5月5日は午後0時から午後3時までの3時間が対象になりました。1時間当たり50kwhの発電量なので、この2日間だけで、400kwhカットされたこととなります。せっかくCO2削減目的で自然エネルギーで発電するのに、その電気をカットする制度。できるだけ出力制御しなくてすむよう、電力会社間の送電網を拡大するとか、電力会社の蓄電池を増やすなどの対策をすべきです。これから洋上風力発電の開発が進むだけに、ますます対策強化が求められます。制度改善を求めています。



社間の送電網を拡大するとか、電力会社の蓄電池を増やすなどの対策をすべきです。これから洋上風力発電の開発が進むだけに、ますます対策強化が求められます。制度改善を求めています。

(5) 売電先を東北電力から自然エネルギーを大切にする業者に切り替える

東北電力が強引に女川原発再稼働を推し進める中、原発再稼働反対の意思表示として、自然エネルギーを大切に扱う小売業者に売電先を変更しています。2019年6月井土浜1号機の発電をパルシステム(あいコープみやぎ)に売電開始。2020年4月には亘理4号機をみんな電力に変更し、その電気は「仙台ピット」が購入しています。みんな電力からはわずかですが利益還元があり、経営にもプラスになっています。2022年は多賀城5号機の電力をみんな電力と契約しましたが、売電先がまだ決まっていません。

みんな電力から電気を買うと「きらきら」に協力できます

上記の通りきらきら発電はみんな電力と売買契約をかわしました。みんな電力はすでに東北地区の一般家庭を小売りの対象としています。みんな電力と契約すると、きらきら発電が発電した電気を購入できます。みんな電力の申し込み先は「<https://minden.co.jp>」。みんな電力は発電産地応援事業を行っていて、みんな電力から電気を買うと、きらきら発電を含む発電事業者に1月100円の支援金が届くシステムとなっています。宮城県内の発電事業者一覧をのぞくと、きらきら発電のほかにおながわ市民共同発電所・ひっぽ電力株式会社など私たちの仲間の名が出てきます。その中から自分の応援したい発電事業者を毎月選ぶことが可能です。きらきら発電を応援したい方は、電力の購入先をみんな電力に切り替えることをお勧めします。

(6) 女川原発再稼働、あくまで反対を貫く

女川原発2号機の審査が終了し、市町村長会議で反対意見が出たにもかかわらず、宮城県知事が強引に原発再稼働地元合意を発表しました。この再稼働の動きにあわせて、東北電力は太陽光発電事業者に「太陽光発電の連係をストップさせる遠隔装置」の設置を求め、従わなければ連係中止するとの通告をしてきたため、きらきら発電も一か所35万円の費用をかけて遠隔装置を設置せざるをえませんでした。しかも2022年度からは遠隔装置を設定していない施設にはペナルティーを科す(売電料金を減額する)という通知を発しています。自然エネルギー拡大の道に反する原発再稼働にはあくまでも反対していくことをここに確認します。

(7) 放射能汚染測定や被害防止活動に協力

東京電力福一事故による放射能汚染被害に苦しむ人々への支援も継続しています。2021年度

は放射能汚染廃棄物焼却反対大崎住民訴訟原告団の排ガス検査精密測定の実現に協力しました。引き続き大崎住民訴訟を支援し、各種放射線測定や被害防止活動に協力していきます。

2、営利活動に関する事項

第1号発電所(仙台市若林区井土字宅地17番地)

2015年50,733kwh、2016年95,533kwh、2017年93,625kwh、2018年94,193kwh、2019年92,738kwh、2020年90,020kwh、2021年94,010kwh発電。2022年84,111kwh発電。当初年間発電量を72,340kwhと想定しましたが、過積載(50kwのパワコンに76kwのパネル)のため想定の3割増の活躍です。

第2号発電所(仙台市太白区柳生字北20-1、もりの子保育園)

2015年15,045kwh、2016年34,426kwh、2017年33,197kwh、2018年32,932kwh、2019年35,348kwh、2020年32,931kwh、2021年35,382kwh発電、2022年33,511kwh。もりの子は30kwの発電容量で、年間34,725kwh想定されています。

第3号発電所(塩釜市花立町1-16、あゆみ保育園)

2016年6,703kwh、2017年20,210kwh、2018年20,052kwh、2019年20,602kwh、2020年19,428kwh、2021年20,320kwh、2022年19,643kwhの発電量でした。3号機は14kwパワコンに17kwパネルを搭載、年間17,742kwhの想定で、想定以上の発電です。

第4号発電所(亘理町長瀬字大橋220番9号)

亘理町の津波被災地長瀬に2018年8月建設。2019年102,459kwh、2020年97,437kwh、2021年103,834kwh、2022年99,047kwh発電し、井土浜1号機を上回っています。4号機は50kwのパワコンに93kwのパネルを載せています。

第5号発電所(多賀城市伝上山坂病院駐車場、多賀城市伝上山4丁目116-1)

第5号機は坂総合病院駐車場のガレージ式太陽光発電所です。50kwパワコンに80kwパネル搭載ですが、真南ではないため年間77,000kwhの発電見込みで、2019年は72,691kwh(1か月半不足の合計)、2020年75,225kwh発電。2020年度中に、南西部に二階建ての民家が建てられ、太陽の低い冬に影ができるようになりましたが、2021年79,411kwh、2022年78,473kwhと、ほぼ想定どおりの発電量を維持しています。発電量は4号機に劣りますが、売電単価が27円/kWhなので、売電料金はほぼ同じです。

第6号発電所(仙台市宮城野区中野高松241-3)

2020年11月蒲生の舟要洞場の屋根に10kw(パネルは12kw)の太陽光を設置。年間10,300kwhの発電量を見込み、2021年13,747kwh、2022年12,793kwhを発電。過積載が功を奏しています。

第7号発電所(仙台市若林区なないろの里2-4-11)

2022年9月申請で許可が2月に降り、3月23日工事、4月4日連系。4kW、10年間のFIT(17円単価)です。2022年度の発電量は3,178kwhです。

第8号発電所(仙台市若林区荒井4-20-7)

4.6kWパネル・パワコン4kWで142万円で建設。今年度1,692kwhを発電。

3、実施体制等に関する事項

(1) 理事会及び総会・監査の開催状況

第83回理事会 2022年4月1日(金)第8回定期総会の準備、5月25日講演会準備

第8回定期総会 2022年4月29日開催(内容は昨年 of 事業報告書参照)

第84回理事会 2022年5月13日(金)第8回定期総会の報告、8号機建設決定

- 第 85 回理事会 2022 年 6 月 10 日(金)固定資産税申告、屋根借り太陽光発電 9 号機の検討
第 86 回理事会 2022 年 7 月 9 日(金)泉病院屋上太陽光発電設置の検討(自家消費型)
第 87 回理事会 2022 年 8 月 6 日(土) 映画「WENDE—光と水のエネルギー」の上映について
第 88 回理事会 2022 年 9 月 10 日(土) オンライン上映会、井土浜発電所の発電中断事故
第 89 回理事会 2022 年 10 月 1 日(土)古川くりの木保育園への援助、オンライン上映会
第 90 回理事会 2022 年 11 月 12 日(土)環境日本一をめざす仙台市民の集い
第 91 回理事会 2022 年 12 月 9 日(金)市民電力年会準備、基金返済について
第 92 回理事会 2023 年 1 月 14 日(土)市民電力年会準備、泉病院太陽光発電設置募金
第 93 回理事会 2023 年 2 月 10 日(金) 市民電力年会報告、今後の基金返済計画
第 94 回理事会 2023 年 3 月 11 日(土)第 9 回定期総会議案、記念講演リモート準備
会計監査 2023 年 4 月 2 日の予定。

(2) 正会員および賛助会員に関する事項(2023 年 3 月現在)

正会員数 83 人、賛助会員数 180 人(いずれも個人)

(3) 役員に関する事項(2022 年 3 月現在)

役員総数 5 人(理事 4 人、監事 1 人)

代表者 理事長 水戸部 秀利

(4) 職員に関する事項(2022 年 3 月現在)

職員は無し

(5) 事業に参加したボランティア

ボランティア事業は無し。発電所の除草作業に延べ 15 名のボランティアが参加。

(6) 情報発信体制に関する事項

ホームページ <http://kirakirahatuden.com/>

来年度の活動方針(案)

- 1, 基金返済を 2030 年に終了させることを目標に、毎年 600 万円返済する。
- 2, 2024 年泉病院屋上に太陽光発電を設置するための 500 万円募金を成功させる。
- 3, パソコン交換(2030 年~2035 年)のための積立金を 30 万円から 50 万円に増やす。
- 4, 女川原発の 2024 年 2 月再稼働をストップさせるため、宮城アクションに結集する。
- 5, 2023 年に 9 号機の建設をめざす。
- 6, 気候危機に対応し、気候正義を貫こう。
- 7, 松浦理事退任希望あり今期のみ、その後の体制検討。
- 8, 古川くりの木保育園での環境再エネ教育企画

以上

2022 年度活動計算書・2023 年度活動予算書(案)

2023 年 4 月 29 日

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所 (単位円)

(2022 年度決算の会計期間は 2022 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日まで)

科 目	2022 年度予算	2022年度決算	2023年度予算案
〈収益事業〉 発電の部			
発電収入	8,891,703	8,452,315	8,712,315
その他収益		120,659	9,600
収益合計	8,891,703	8,572,974	8,721,915
経常費用			
電気代	66,000	65,394	86,000
保険料・保守契約	507,300	507,300	650,000
設備交換積立金	302,000	302,000	500,000
地代	250,500	264,748	300,000
減価償却費	4,365,000	4,365,000	4,365,000
人件費	960,000	960,000	960,000
旅費交通費	70,000	74,306	70,000
通信費	285,000	298,781	285,000
印刷費	50,000	31,658	50,000
事務費	80,000	88,388	80,000
租税公課	700,000	651,300	600,000
会議費	20,000	0	20,000
発電所整備費	100,000	339,084	100,000
発電所建設費	1,320,000	820,440	1,320,000
合計	9,118,500	8,768,399	9,386,000
当期増減額	-226,797	-195,425	-664,085
〈非営利活動〉			
I 経常収益			
1 会費収入	10,000	0	10,000
2 企画収入	0	0	0
3 寄付金・他	600,000	4,396,380	600,000
経常収益合計	610,000	4,396,380	610,000
II 経常費用			
会議費	67,100	60,440	67,100
旅費交通費	12,150	0	12,150
印刷費	20,000	13,120	20,000
企画費・諸会費	283,953	338,401	80,000
経常費用合計	383,203	411,961	179,250
当期増減額	226,797	3,984,419	430,750
当期正味財産増減額	0	3,788,994	-233,335
前期正味財産額	5,702,996	5,702,996	9,491,990
次期繰越正味財産額	5,702,996	9,491,990	9,258,655

活動計算書注記

1、重要な会計方針

この計算書類は NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協会)によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、税務署に申請の上、定額法で償却しています。

(2)施設の提供等物的サービスを受けた会計処理

施設の提供等の物的サービスについては活動計算書に計上していません。

(3)ボランティアによる役務の提供の会計処理

役員及び会員の役務の提供は、事務局長の発電業務を日当支給する外、すべて無料ボランティアとしています。

(4)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2、固定資産の増減内訳

科目	取得価格	圧縮経費	減価償却	期末帳簿価格
土地				1,686,750 円
太陽光発電			4,365,000 円	44,284,460 円

若林区荒井に 8 号機建設しましたが、家庭用太陽光につき固定資産に含まれません。

3、借入金の増減の内訳

科目	当期借入	前期残高	期末残高
役員借入金	0 円	50,260,000 円	41,340,000 円

(1)2020 年度より借入金の返済を開始しました。今年の返済額は 892 万円。

(2)ほかの N P O 法人に 510 万円基金(無利子)として貸し付けています。

5、役員及びその近親者との取引の内容

事務局長広幡文宅を事務所として提供していただいておりますが、家賃の支払はありません。

貸借対照表

2023年3月31日

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	4,442,684		
現金	418,096		
棚卸資産	0		
流動資産合計		4,860,780	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
発電所	44,284,460		
土地	1,686,750		
有形固定資産計	45,971,210		
(2)投資その他の資産			
敷金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		45,971,210	
資産合計			50,831,990
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
前受助成金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
役員借入金	41,340,000		
固定負債合計		41,340,000	
負債合計			41,340,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,702,996	
当期正味財産増加額		3,788,994	
正味財産合計		9,491,990	9,491,990
負債及び正味財産合計			50,831,990

2022 年度財産目録

2023 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	4,442,684		
現金	418,096		
棚卸資産	0		
流動資産合計		4,860,780	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
発電所	44,284,460		
土地	1,686,750		
有形固定資産計	45,971,210		
(2)投資その他の資産			
敷金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		45,971,210	
資産合計			50,831,990
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
前受助成金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
役員借入金	41,340,000		
固定負債合計		41,340,000	
負債合計			41,340,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,702,996	
当期正味財産増加額		3,788,994	
正味財産合計		9,491,990	9,491,990
負債及び正味財産合計			50,831,990

2022年度役員名簿

2023年3月31日

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

役職名	氏名	住所	報酬 有無
理事長	みとべひでとし 水戸部 秀利	塩竈市南錦町5番30号	無
理事	まつうらまこと 松浦 真	仙台市太白区諏訪町15番53号	無
理事	ださいよしあき 太齋 義明	柴田郡柴田町大字四日市場字上山根3番地の3	無
理事	ひろはたあやる 広幡 文	仙台市泉区北中山3丁目17番地の12	有
監事	はっとりけんじ 服部 賢治	仙台市太白区八木山香澄町23番地の21	無

前事業年度の社員のうち 10 人以上の者の名簿

(2023 年 3 月 31 日現在)

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

氏名	住所
水戸部 秀利	塩竈市南錦町 5 番 3 0 号
水戸部 登紀子	塩竈市南錦町 5 番 3 0 号
塚本 二郎	仙台市泉区長命ヶ丘 1 丁目 2 番地の 1 5
太齋 義明	柴田郡柴田町大字四日市場字上山根 3 番地の 3
武井 あおい	仙台市泉区南光台南 2 丁目 1 1 番 4 4 号
金田 基	仙台市青葉区米ヶ袋 1 丁目 3 番地の 4 3
松浦 真	仙台市太白区諏訪町 15 番地の 53
松本 重夫	富谷市二ノ関字館下 3 5 番地
高山 摩耶子	仙台市太白区諏訪町 8 番地の 9
野川 ちひろ	仙台市泉区北中山 4 丁目 2 5 番地の 5
広幡 博子	仙台市泉区北中山 3 丁目 1 7 番地の 1 2
広幡 文	仙台市泉区北中山 3 丁目 1 7 番地の 1 2